

団体向け
テストプログラム



音声無料
ダウンロード

はじめて受ける TOEFL ITP® TEST 総合対策【改訂版】

埼玉県立大学名誉教授

島崎美登里

順天堂大学国際教養学部教授

ポール・ワーデン

株式会社リンクグローバルソリューション プリンシパル

ロバート・ヒルキ



語研

TOEFL and TOEFL ITP are registered trademarks of ETS. This publication is not endorsed or approved by ETS.

団体向け
テストプログラム



はじめて受ける TOEFL ITP® TEST 総合対策【改訂版】

埼玉県立大学名誉教授

島崎美登里

順天堂大学国際教養学部教授

ポール・ワーデン

株式会社リンクグローバルソリューション プリンシパル

ロバート・ヒルキ



語研

TOEFL and TOEFL ITP are registered trademarks of ETS.

This publication is not endorsed or approved by ETS.

[はじめて受けるTOEFL ITP® TEST総合対策【改訂版】ためし読み](#) [Webページへ](#)

本書は、弊社刊『はじめて受ける TOEFL® ITP® TEST 総合対策』を TOEFL ITP® TEST の出題形式、出題傾向に即して改訂し、加筆修正したものです。

[はじめて受けるTOEFL ITP® TEST総合対策\[改訂版\] ためし読み Webページへ](#)

はじめに

TOEFL® (Test of English as a Foreign Language) は世界中で受験されている英語運用能力テストです。そのなかで TOEFL ITP® (Institutional Testing Program) は、団体向けテストプログラムであり、世界では 50 カ国以上で使用され、日本では 500 以上の教育機関や企業などの団体に利用されています。受験目的には大学のクラス分け、単位認定、実力診断、大学院入試、留学生選抜試験などがあります。

本書は、この TOEFL ITP® で高スコアを達成していただくための受験対策書です。まだ受けたことがない方、受験したことはあるものの、なかなかスコアが上がらずに苦労している方、そして受験日が迫って短期間での対策が必要な方に、本書が必ず役に立つと確信しています。一定以上のスコアを獲得するためには、Listening Comprehension, Structure and Written Expression, そして Reading Comprehension の 3 セクションのすべてについて、効果的な受験ストラテジーを身につける必要があります。本書は、初めて受験する方や、短期間でスコアを上げたいという皆さんを対象に、最も重要かつ効率のよい受験ストラテジーをまとめています。効果的な受験対策を行うためには、単に攻略法を知るだけでなく、TOEFL ITP® を忠実に反映した教材で学ぶ必要があります。本書は、過去の問題を詳細に分析し、問題傾向の推移を把握したうえで作成したものです。

- 効果の高い攻略ストラテジーとわかりやすい解説
- 本物に限りなく近い出題傾向とコンテンツ
- ハイクオリティの音声データ

本書のこれらの要素が、皆さんのスコアアップ、ひいては大学生活、留学生生活を成功させる一助となることを心より願っています。

2023 年 1 月

著 者

目次

はじめに.....	3
本書の構成と使い方.....	7
TOEFL ITP® TEST について.....	10

I Section 1 Listening Comprehension 攻略ストラテジー+練習問題

Part A Short Conversations

Part B Long Conversations

Section 1 Part A/B (会話問題) の概要.....	20
1. 話の核となる「キーワード」を聞き取る.....	22
2. 「設問を先読み」して答えに関する情報を聞き取る.....	26
3. 「繰り返される情報」に注意する.....	30
4. Long Conversations への応用 1.....	34
5. 会話内の「出来事」を理解する.....	38
6. 「問題点」と「解決策」を把握する.....	42
7. 「推測」と「示唆」に注意する.....	46
8. 「賛成」と「反対」に注意する.....	50
9. 「イントネーション」と「皮肉表現」に注意する.....	54
10. Long Conversations への応用 2.....	58
集中練習問題 ①.....	62
集中練習問題 ① 解答・解説.....	65
集中練習問題 ②.....	74
集中練習問題 ② 解答・解説.....	77

Part C Talks

Section 1 Part C (トーク問題) の概要.....	86
1. Part C 総合的なストラテジー.....	88
2. Part C 特有のストラテジー 1.....	89
3. Part C 特有のストラテジー 2.....	96
集中練習問題 ①.....	106
集中練習問題 ① 解答・解説.....	107
集中練習問題 ②.....	111
集中練習問題 ② 解答・解説.....	112

集中練習問題 ③	115
集中練習問題 ③ 解答・解説	116

II Section 2 Structure and Written Expression 攻略ストラテジー+練習問題

Section 2 の概要	120
1. 主語と動詞	122
2. 一致	124
3. 並列	126
4. 名詞	128
5. 代名詞	130
6. 動詞	132
7. 形容詞・副詞	134
8. 接続詞・前置詞	136
9. 冠詞	138
10. 品詞	140
11. 語順	142
12. 脱落	144
13. 重複	146
集中練習問題 ①	148
集中練習問題 ① 解答・解説	150
集中練習問題 ②	152
集中練習問題 ② 解答・解説	155
集中練習問題 ③	159
集中練習問題 ③ 解答・解説	162

III Section 3 Reading Comprehension 攻略ストラテジー+練習問題

Section 3 の概要	168
1. 頻出設問タイプ 1 2	170
2. 頻出設問タイプ 3 4 5	178
3. 頻出設問タイプ 6 7	186
4. 頻出設問タイプ 8 9	194
集中練習問題 ①	202
集中練習問題 ① 解答・解説	205
集中練習問題 ②	210
集中練習問題 ② 解答・解説	213
集中練習問題 ③	219
集中練習問題 ③ 解答・解説	222

IV 総合模試

総合模試

Section 1 Listening Comprehension	229
Section 2 Structure and Written Expression	247
Section 3 Reading Comprehension	259

総合模試 解答・解説

総合模試 正答一覧表	278
Section 1 Listening Comprehension	279
Section 2 Structure and Written Expression	311
Section 3 Reading Comprehension	322

Answer Sheet	(349) (350)
--------------------	-------------

【装丁】 山田 英春

【CD 吹き込み】 Edith Kayumi

Josh Keller

Jack Merluzzi

Carolyn Miller

本書の構成と使い方

本書の構成

本書は、セクション別攻略ストラテジー＋練習問題 (Strategies)、セクション別集中練習問題 (Bursts)、および本試験 1 回分の総合模試 (Practice Test) により構成されています。

I	Section 1 Listening Comprehension 攻略ストラテジー＋練習問題
II	Section 2 Structure and Written Expression 攻略ストラテジー＋練習問題
III	Section 3 Reading Comprehension 攻略ストラテジー＋練習問題
IV	総合模試

攻略ストラテジー＋練習問題 (Strategies)

各セクションを攻略するために、頻出設問パターンとその対策を学びます。まずはここでどのような設問が出題されるのか、それらの設問にどう対処すればよいのかといった基本事項を理解します。それぞれのストラテジーには、出題傾向に沿った練習問題が付属します。1 問ずつ解答し、確実に攻略法を身につけてください。

集中練習問題 (Bursts)

攻略ストラテジーの後半には数セットの集中練習問題を用意してあります。ここでは解答を確認しながら 1 問ずつ解くのではなく、1 セットごとにまとめて解いたうえで、解答を確認するようにしてください。Burst とは本来は「集中射撃」という意味です。まとまった数の問題を一気に解くことで、試験のための集中力と解答のペースを身につけましょう。

総合模試 (Practice Test)

各セクションの対策を終えたら、最後の仕上げとして模試にチャレンジしましょう。問題数と制限時間、配点は次のようになっています。

		問題数	解答時間	最低点	最高点
Section 1	Listening Comprehension	50 問	約 35 分	31	68
	Part A Short Conversations	30 問			
	Part B Long Conversations	8 問 (または 9 問) (会話は 2 題)			
	Part C Talks	12 問 (または 11 問) (トークは 3 題)			
Section 2	Structure and Written Expression	40 問	25 分	31	68
	Structure	15 問			
	Written Expression	25 問			
Section 3	Reading Comprehension	50 問 (パッセージは 5 または 6 題)	55 分	31	67
Total		140 問	約 115 分	310	677

音声データの内容

本書には [練習問題] [集中練習問題] [総合模試] で使用するすべての音声収録されています。

各問題に音声トラックが割り振られていますので、聞き直し、頭出しが簡単にできます。アイコンにトラック番号の形式 (🔊 001 ~) で表示されています。



TOEFL ITP[®] TESTについて

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は米国、カナダの大学、大学院への留学を希望する、英語を母国語としない人々に課される英語能力評価テストです。アメリカの標準化テスト開発機関 ETS (Educational Testing Service) が問題を作成し、日本での運営は ETS Japan 合同会社が行っています。

TOEFL は本来、留学希望者の英語能力を評価する目的で作成されているため、その内容もキャンパスでの会話、大学でのディスカッション、アメリカ史や地学などの大学での講義内容を素材として、アカデミズム指向の強い試験となっています。

TOEFL はこれまで、PBT (Paper-Based Test)、CBT (Computer-Based Test)、iBT (internet-Based Test) とさまざまな形式を取り入れてきましたが、2006 年以降は、留学希望者に対しては TOEFL iBT のみの受験が義務付けられています。

TOEFL ITP (Test of English as a Foreign Language Institutional Testing Program) は団体受験に限って実施されているテストで、マークシート方式のペーパー版と、インターネット接続できるコンピュータを使用したデジタル版があります。2020 年から導入されたデジタル版は、問題数およびスコアスケールがペーパー版と同一です。TOEFL ITP は、主に大学、短期大学、語学学校でのクラス分けや大学院入試のために活用されています。受験結果は公式の TOEFL スコアとしては認定されないため、留学志望先に提出することはできません (TOEFL iBT のスコアを提出する必要があります)。しかし、過去のペーパーテスト版 TOEFL (PBT) の問題を再利用し、採点方法なども TOEFL iBT に準じているため、TOEFL iBT のスコアと高い相関関係があるとされています。そのため、現在 500 以上の教育機関 (高校・大学・大学院など) や団体、企業で実施されています。生徒や社員の英語力の測定、交換留学の選抜試験、社員の研修、クラス分けのために利用されています。また、TOEFL iBT に比べ、受験料も安く受験しやすいため、TOEFL iBT の受験準備にも多く利用されています。TOEFL ITP は団体受験限定ですので、受験申し込みについては所属している団体や教育機関にご確認ください。

TOEFL ITP の構成

TOEFL ITP は Listening Comprehension, Structure and Written Expression, Reading Comprehension の 3 つのセクションで構成されています。TOEFL ITP には Level 1 と Level 2 があり, Level 1 は過去の PBT 問題をそのまま利用し, Level 2 は内容をやさしめに作られています。本書では Level 1 を対象としています。

Section 1	Listening Comprehension (所要時間: 約 35 分 設問数: 50 問)
Part A	短い会話を聞き, その内容についての設問に答える。(約 15 分 30 問)
Part B	長めの会話を聞き, その内容についての設問に答える。 (約 7 分 8 問または 9 問, 会話は 2 題)
Part C	講義, 学術的なトークなどを聞き, その内容についての設問に答える。 (約 12 分 12 問または 11 問, トークは 3 題)
Section 2	Structure and Written Expression (所要時間: 25 分 設問数: 40 問)
Structure	空所補充問題 (15 問)
Written Expression	誤文訂正問題 (25 問)
Section 3	Reading Comprehension (所要時間: 55 分 設問数: 50 問)
5 題または 6 題のパッセージ (250 ~ 350 語程度) を読み, その内容あるいは語彙についての設問に答える。	

試験時間は約 2 時間, 問題は全部で 140 問あります。試験官の指示に従い, 最初に Listening Comprehension を解き, その後に Structure and Written Expression と Reading Comprehension に移ります。試験監督官の指示に従って, 指定されたセクションだけを解かなければなりません。他のセクションを無断で解いていると判断された場合にはスコアが無効になる可能性があります。

なお, 減点法は採用されていませんので, 必ず全問を解くように心がけてください。どうしても正答がわからない場合は, 必ず選択肢のひとつにマークしてから次の問題に進みます。その際は常に特定の選択肢にマークしても, そのつどマークする選択肢を変えても, それが偶然に正答になる確率は変わりません。

TOEFL ITP の問題冊子 (test book) では、Section 1-3 の各最初のページに例題と、それに基づく解答方法が Test Directions として英文で説明されています。Test Directions の著作権は ETS (Educational Testing Service) が有しているため、本書では掲載することができません。そこで、出題形式と解答方法を簡単に説明しておきます。受験前に出題形式と解答方法を知っておけば、受験の際に Test Directions を読む必要はありません。なお、3 セクションとも、4 つの選択肢から正解ひとつを選ぶ 4 択式問題です。(A), (B), (C), (D) の選択肢のうちから正解ひとつを選んで、解答用紙の該当するマークを鉛筆で塗りつぶすマークシート形式です。くれぐれも問題番号を間違えないようにしてください。なお、ペーパー版の試験では問題冊子への書き込みが可となり、デジタル版の試験では自分で用意した紙にメモをとることが許可されています。また、途中休憩はありません。

Section 1 Listening Comprehension

会話、講義を聞いて理解する能力を評価します。話者が述べた内容、あるいは言葉で明確に述べていなくても示唆している内容に基づいて正解を選びます。

Part A: Short Conversations

2 人の短い会話を聞きます。設問と選択肢が、問題冊子に記載されています。会話が終わると、その内容に関して設問が読まれます。会話、設問ともに 1 度だけ読まれます。問題冊子にある 4 つの選択肢から正解と思われるものひとつを選んで、解答用紙のマークを塗りつぶします。会話 + 設問は 30 問あります。

Sample Answer

(A) (B) (C) (D)

What does the man mean?

- (A) He was not able to make the deadline.
- (B) He did not know when the assignment was due.
- (C) He was not able to find the reference book.
- (D) He did not discuss with the professor.

Part B: Long Conversations

2人の長めの会話を聞きます。設問と選択肢が、問題冊子に記載されています。会話が終わると、その内容に関して4つの設問が読めます。会話、設問ともに1度だけ読めます。問題冊子にある4つの選択肢から正解と思われるものひとつを選んで、解答用紙のマークを塗りつぶします。会話は2つ、設問は計8問または9問あります。

Sample Answer

(A) (B) (C) (D)

What are the man and woman discussing?

- (A) Job opportunities
- (B) Course requirements
- (C) Class schedules
- (D) Faculty members

Part C: Talks

ひとりの話者による講義などのトークを聞きます。設問と選択肢が、問題冊子に記載されています。トークが終わると、その内容に関して3~5つの設問が読めます。トーク、設問ともに1度だけ読めます。問題冊子にある4つの選択肢から正解と思われるものひとつを選んで、解答用紙のマークを塗りつぶします。トークは3つ、設問は計12問または11問あります。

Sample Answer

(A) (B) (C) (D)

What is the main point of this lecture?

- (A) Global warming
- (B) Endangered species
- (C) Tidal waves
- (D) Deforestation

Section 2 Structure and Written Expression

標準的な書き言葉の英語を理解する能力を評価します。Structure（空所補充問題）と Written Expression（誤文訂正問題）の2種類の問題があります。

Structure

文の一部が空所になっています。その空所を構文、あるいは文法的に正しく補う語句を、4つの選択肢からひとつ選びます。15問あります。

A librarian can help you ----- the books you need.

- (A) finds
- (B) find
- (C) found
- (D) having found

Sample Answer

(A) ● (C) (D)

Written Expression

文中の4つの語句に下線が引かれています。文法的な誤りを含む語句をひとつ選びます。25問あります。

Computers can facilitate self-paced learning, while to give
A B C
immediate reinforcement and feedback.
D

Sample Answer

(A) (B) ● (D)

Section 3 Reading Comprehension

大学の授業で読むアカデミックな内容のパッセージを読んで理解する能力を評価します。パッセージの後に 10 問前後の設問と、それぞれ 4 つの選択肢が用意されています。設問に対する解答として正しいものをひとつ選びます。パッセージで述べられている内容、あるいは言葉で明確に述べられていなくても示唆している内容に基づいて正解を選びます。パッセージは 5 つまたは 6 つ、設問は計 50 問あります。

Sample Answer

A B C D

What does the passage mainly discuss?

- (A) Media literacy
- (B) Religious beliefs
- (C) Mass communication
- (D) Interpersonal skills

TOEFL ITP と TOEFL iBT の違い

	TOEFL ITP		TOEFL iBT	
	設問数	時間	設問数	時間
Listening Comprehension	50 問	約 35 分	28-39 問 〈会話:2 または 3 題(各 5 問) 講義:3 または 4 題(各 6 問)〉	41-57 分
Structure and Written Expression	40 問	25 分		
Reading Comprehension	50 問	55 分		
Speaking			4 問	17 分
Writing			2 問	50 分
合計	140 問	約 115 分	75 問前後	約 3 時間

TOEFL ITP は Listening Comprehension, Structure and Written Expression, Reading Comprehension の 3 部構成です。TOEFL iBT には Structure and Written Expression はなく、Reading, Listening, Speaking, Writing の 4 セクションがあります。

スコアについて

スコアレポートは1～2週間で発送されます。スコアはListening ComprehensionとStructure and Written Expressionが31～68点、Reading Comprehensionが31～67点で計算されます。合計点の算出方法は、

$$(\text{Listening} + \text{Structure} + \text{Reading}) \times 10 \div 3$$

という計算式で、最低310点、最高677点になります。

一般的に、大学での交換留学に必要な最低基準は500点、アメリカやカナダの大学への正規留学には最低500～550点、大学院への留学では最低550～600点が必要となります。

TOEFL ITP デジタル版に関する注意点

デジタル版の受験は要件を満たしたパソコンのみ使用が認められています。タブレットやスマホを使って受験することはできません。

問題数、スコアスケール、スコアの見方はペーパー版と同じです。ただし、Structure and Written ExpressionとReading Comprehensionのセクションでは受験者が時間内に解答を終えれば、次のセクションに進んだり、試験を終了したりすることができるため、所定の解答時間より早く終わることがあります。

Listening Comprehensionのセクションについては、本書は主としてペーパー版試験の解法を示しています。デジタル版については、各会話やトークが始まるときに設問と選択肢が一緒に表示される形式へ切り替えられてきています。その形式の場合、設問を先読みする時間はほとんどありませんが、それでも設問の最初の疑問詞、主語、動詞などに素早く目を通し、設問の答えに関連する情報を聞き取るように努めるとよいでしょう。



I

Section 1
Listening Comprehension
攻略ストラテジー + 練習問題

Section 1 Part A/B (会話問題) の概要

Listening Comprehension セクションは以下の構成になっている。本節では、Short Conversations と Long Conversations を攻略する（赤色の部分）。

Listening Comprehension (50問：約35分)

Part A (30問)	Part B (8または9問)	Part C (12または11問)
Short Conversations	Long Conversations	Talks

主な特徴

- ◆ 全問とも四肢択一形式。
- ◆ 音声に合わせて試験が進行するため、解答時間を自分で配分することができない。
- ◆ 問題用紙に設問と選択肢が印刷されている。

Short Conversations

2人の人物が交わす短い会話30編を聞き、その内容についての設問に答える出題形式。ひとつの会話につき1問が出題される。解答は4つの選択肢からひとつを選ぶ四肢択一形式。

Long Conversations

同様に2人の人物の会話を聞き、その内容についての設問に答える出題形式だが、Short Conversations に比べ会話は長めである。会話は2つあり、ひとつの会話につき約4問出題される。4つの選択肢からひとつを選ぶ四肢択一形式。

Short Conversations, Long Conversations のいずれも、学生同士、学生と教官、あるいは学生と大学職員などによりキャンパス内で展開される会話がほとんどである。また、会話の話題も授業、アルバイト、課外活動など、大学生生活になじみの深いものが多い。

Listening Comprehension PartA/B のストラテジー

本節では、会話問題で共通して使える「総合的なストラテジー」と、頻出の設問形式やヒントとなる表現に的を絞った「特有のストラテジー」の2種類に分けて学習を進める。基本的なストラテジーはShort Conversationsで学習し、「4. Long Conversationsへの応用1」「10. Long Conversationsへの応用2」でPart Bへの応用を学ぶ。

総合的なストラテジー

1. 話の核となる「キーワード」を聞き取る
2. 「設問を先読み」して答えに関する情報を聞き取る
3. 「繰り返される情報」に注意する
4. Long Conversations への応用 1

特有のストラテジー

5. 会話内の「出来事」を理解する
6. 「問題点」と「解決策」を把握する
7. 「推測」と「示唆」に注意する
8. 「賛成」と「反対」に注意する
9. 「イントネーション」と「皮肉表現」に注意する
10. Long Conversations への応用 2

1. 話の核となる「キーワード」を聞き取る

最重要ストラテジー▶▶▶

- ◆ はっきりと発音される「キーワード」に注意して会話を聞くことで、話の内容と解答のヒントをつかむことができる。
- ◆ 「キーワード」がそのまま使われている選択肢は誤答の可能性が高い。正解にはキーワードの言い換え表現が用いられることが多い。

.....

会話の内容を理解するには、まず話の核となる「キーワード」を聞き取る必要がある。ここで言う「キーワード」とは、具体的な意味を持つ内容語（名詞や動詞など）のことである。話者は相手にメッセージを伝えようとするため、内容語は機能語（前置詞や助動詞など）に比べ、よりはっきりと発音される。また、特に重要な語は声の大きさ、発音の長さ、イントネーションなどで強調されるため、認識しやすい。こうしたキーワードの聞き取りは、会話のポイントをつかんで内容を理解するうえで大きなヒントとなる。

例えば次のような会話を考えてみよう。

W: Have you ever **received financial aid** from the **college**?

M: No, this is my **first time**.

この会話の場合、最も強調して発音されるのは太字の **received**, **financial aid**, **college**, **first time** である。これらの語を聞き取るだけでも、大学の奨学金申請に関するやりとりであることがつかめる。特にリスニングを苦手とする学習者の場合、まずはこうした内容語の聞き取りに集中し、会話の中心になっている話題を把握する練習から始めるのがよい。学習の過程で繰り返し会話を聞き、徐々に耳を慣らして機能語、文全体、会話全体の理解へと進めていく学習法が有効である。

ただし、聞き取れた「単語そのもの」とらわれることは危険である。TOEFL ITP では、誤答選択肢中に会話で使われた語句をそのまま使い、正答ではキーワードを言い換え、別の表現で表すことが多い。はっきり聞こえた語がそのままの形で使われている選択肢には注意する必要がある。重要なのは、キーワードの表す「内容」であって、単語そのものではない。

練習問題 ▶▶

☞ はっきりと聞き取れる「キーワード」に注意して会話を聞き、解答しなさい。

- 🔊 001 **1.** What does the man plan to do?
 (A) See the professor later today
 (B) Drop the professor's class
 (C) Visit the professor tomorrow
 (D) Contact the professor at home (A) (B) (C) (D)
- 🔊 002 **2.** What is the woman's problem?
 (A) Her advisor is leaving the university.
 (B) She cannot take a required class.
 (C) She does not want to major in psychology.
 (D) A professor would not let her enroll in his class. (A) (B) (C) (D)
- 🔊 003 **3.** What will the man probably do?
 (A) Read the world news next
 (B) Order what the woman suggested
 (C) Continue making a plan
 (D) Ask the server to bring a menu (A) (B) (C) (D)

1.

解答：A

001 M: Professor Johnson, I have class next period, but I really need to talk to you. Could I drop by your office this afternoon?

W: Sure, I have an office hour today from three to four. I'll look forward to seeing you then.

Q: What does the man plan to do?

M: ジョンソン先生、次の時限にクラスがあるのですが、どうしてもお話ししたいことがあります。今日の午後オフィスにうかがってよろしいでしょうか。

W: いいですよ、今日は3時から4時までがオフィスアワーです。その時間にお会いするのを楽しみにしています。

設問訳 男性は何をするつもりですか。

- (A) 今日のちほど教授に会う
- (B) 教授のクラスの受講をやめる
- (C) 明日教授を訪ねる
- (D) 自宅にいる教授に連絡する

解法 設問を先読みしてから会話を聞き、会話内で男性が今後行うことを聞き取る。強くはっきりと話されるキーワードを聞き取ることで、会話の内容と設問を解くヒントが得られる。この会話のキーワードは professor, talk, drop by, office hour, today など、男性が教授と会う約束をしている会話であることがわかる。設問は男性の今後の行動について問うもので、今日の3時から4時のオフィスアワーの間に会うと教授に言われていることから、正解は(A)。

重要語

- drop by ... 「～に立ち寄る」
- office hour 「オフィスアワー」
* 教官がオフィスにいて学生の対応をする時間

2.

解答：B

002 W: I just found out I can't register for a psychology course I need for my major. It's full. And Dr. Fredericks is on leave next semester, so I can't take it then, either.

M: Wow, I guess that means you'll have to postpone graduation. That's one of the problems with course requirements.

Q: What is the woman's problem?

W: 専攻にとって必要な心理学を履修できないことがわかったところなのよ。もう定員なの。次の学期にはフレデリクス先生は休暇を取るの、そのときも履修できないわ。

M: あれ、それじゃ卒業を延ばさなきゃならないってことだと思うよ。必修科目に起こるような問題のひとつだね。

設問訳 女性の問題は何ですか。

- (A) 彼女の指導教官が大学を去る。
 (B) 彼女は必修のクラスを取れない。
 (C) 彼女は心理学を専攻したくない。
 (D) 教授は彼女が自分のクラスに履修登録するのを許してくれない。

解法 設問を先読みしてから会話を聞き、会話内で女性が抱える問題点を聞き取る。この会話のキーワードは can't register, psychology course, need などであり、必修科目である心理学の履修登録について話していることがわかる。女性の問題は心理学を履修できないことであり、正解は(B)。(A)の leaving「辞める」と会話中の on leave「休暇中」の違いに注意。

重要語

- register for ...**
「～に登録する」
 psychology 「心理学」
 major 「専攻」
 postpone 「～を延期する」

3.

解答：B

003 **W:** A lot of the items on this menu look interesting, but I know the meatball spaghetti and the garlic bread are out of this world.

M: Well, that sounds like a plan, then.

Q: What will the man probably do?

W: このメニューの多くの料理には興味をそそられるけど、ミートボールスパゲティとガーリックブレッドが絶品だってことはわかっているの。

M: じゃあ、それがよさそうだね。

設問訳 男性はおそらく何をしますか。

- (A) 次に世界のニュースを読む
 (B) 女性の提案したものを注文する
 (C) 計画を練り続ける
 (D) メニューを持ってくるように給仕人に頼む

解法 設問を先読みしてから会話を聞き、会話内で男性がおそらく行うことを聞き取る。menu, meatball spaghetti などから、レストランの注文に関する会話であることがわかる。男性は Well, that sounds like a plan, then. と述べ、彼は女性が勧めるものを注文すると予測できるので、正解は(B)。(A)の world, (C)の plan, (D)の menu は会話中に登場する語だが、正解ではない。受験者を惑わすために用いられている。正解の(B)に会話内の単語は使われておらず、内容を言い換える表現になっていることに注意。

重要語

- out of this world**
「絶品の」
 That sounds like a plan.
「よさそうですね」

2. 「設問を先読み」して答えに関する情報を聞き取る

最重要ストラテジー▶▶▶

◆ 漠然と会話を聞いていては要点や解答のポイントをつかみにくい。会話を聞く前に設問を素早く読み、その答えに関する情報を聞き取るようにする。

流れてくる会話を漠然と聞いていると、解答のポイントを逃してしまいがちになる。これを避けるため、受験者は常に会話を聞く前に設問をさっと読み、会話内の何にフォーカスして聞けばよいかを知っておき、その情報を聞き取るようにする必要がある。

会話問題の代表的な設問には次のようなものがある。

設問形式

🌸 会話内の出来事や今後の行動を問う設問

- What is the man doing?
- What will the woman probably do?

🌸 会話を述べられている問題点やその解決策を問う設問

- What is the problem?
- What does the man suggest they do?

🌸 会話から推測できる事柄、示唆されている事柄を問う設問

- What can be inferred from this conversation?

🌸 話者の真意を問う設問

- What does the woman mean?

🌸 会話で述べている情報を問う設問

- What are the man and woman talking about?
- When will the class start?

それぞれの設問タイプについては Part A 特有のストラテジー（38 ページ以降）で再び学習する。本項では聞く前に設問を読み、会話内の聞き取るべきポイントを把握したうえで会話を聞く練習を行う。

練習問題



🔊 設問を素早く読んでから会話を聞き、解答しなさい。

🔊 004

4. What does the professor suggest that the man do?

- (A) Hand in his paper on time
 - (B) Better focus the topic of his essay
 - (C) Consider moving out of the dorm
 - (D) Get more involved in class activities
- (A) (B) (C) (D)

🔊 005

5. What is the man planning to do?

- (A) Eat lunch at the cafeteria
 - (B) Pick up books at the bookstore
 - (C) See an exhibit of student art
 - (D) Meet an admissions officer
- (A) (B) (C) (D)

🔊 006

6. What does the woman want to do?

- (A) Purchase a motorcycle
 - (B) Sell her old bike
 - (C) Buy a bicycle
 - (D) Go biking with the man
- (A) (B) (C) (D)

4.

解答：A

▶ 004 M: Professor Richards, our dorm is holding a festival this week and I was wondering if I could get an extension on the due date for my essay.

W: Jack, we all have competing interests and activities in our lives, but I'm going to have to insist that you try to meet the deadline. It wouldn't be fair to the other students if I gave you special treatment.

Q: What does the professor suggest that the man do?

M: リチャーズ先生、寮で今週フェスティバルがあって、レポートの提出期限を延ばしていただけないかと思っていました。

W: ジャック、だれもが生活の中で、両立できないような興味や活動を経験しますが、締め切りに間に合うようにがんばってみなさい。あなたを特別扱いしたら、ほかの学生に公平ではありませんから。

設問訳 教授は男性に何をしよう提案していますか。

- (A) レポートを期日どおりに提出する
- (B) レポートのトピックをさらに絞る
- (C) 寮から出ることを検討する
- (D) クラス活動にもっと積極的に参加する

解法 設問を先読みしてから会話を聞き、会話内で教授が提案していることを聞き取る。男性は I was wondering if I could get an extension ... とレポート提出期限の延長を頼んでおり、教授が対応している。男性の問題点に対する教授の提案として、締め切りに間に合わせるためにがんばるよう男性に言っているので、正解は (A)。

重要語

- due date** 「締め切り日」
- meet the deadline** 「締め切りを守る」

5.

解答：C

▶ 005 M: Excuse me, do you know where the senior art exhibit is being held?

W: Yes, it's over there at the Fine Arts Center. That's the red brick building just behind the cafeteria and right between the Admissions Office and the College Bookstore.

Q: What is the man planning to do?

M: すみません、4年生の美術展がどこで開かれているかご存じですか。

W: はい、あちらのファインアーツセンターです。カフェテリアの裏で、入学事務室と大学書店の間にある赤いレンガの建物です。

設問訳 男性は何をするつもりですか。

- (A) カフェテリアで昼食をとる
- (B) 書店で本を買う
- (C) 学生の美術展を見る
- (D) 入学課の職員に会う

解法 設問を先読みしてから会話を聞き、会話内で男性がこれからすることを聞き取る。男性は、do you know where ...? 「どこ」、art exhibit 「美術展」という表現を使って場所を尋ねていて、これから美術展に行くつもりであることがわかるので、正解は (C)。

重要語

- senior** 「大学4年生」
- Admissions Office**
「入学事務室」

6.

解答：C

W: The campus is so big and it's hard to get from one class to another. I'd really like to get a bicycle, but they're so expensive.

M: In that case, why don't you check the ads in the student newspaper? People advertise used bikes there all the time.

Q: What does the woman want to do?

W: キャンパスがとても広くて、ひとつの授業から次の授業に行くのがたいへんだわ。自転車が本当にほしいけど、とても高いのよね。

M: だったら学生新聞の広告を見てみたらどうかな。いつも中古自転車の広告が出ているよ。

設問訳 女性は何をしたいのですか。

- (A) オートバイを買う
- (B) 古い自転車を売る
- (C) 自転車を買う
- (D) 男性とサイクリングに行く

解法 設問を先読みしてから会話を聞き、会話内で女性がしたいことを聞き取る。会話中に get a bicycle, advertise used bikes と出てくるので、自転車の購入について話していることがわかり、正解は (C)。

重要語

- why don't you ...**
「～してはどうですか」
- bike** 「自転車」(= bicycle)
- motorcycle** 「オートバイ」

3. 「繰り返される情報」に注意する

最重要ストラテジー▶▶

- ◆ 会話の中で繰り返し述べられる事実や情報が正答と結びつきやすい。
- ◆ 繰り返される情報は同意語や言い換え表現が使われる。選択肢に同じ語が使われている場合は、受験者を惑わすことを目的としている可能性が高いので注意が必要。

TOEFL ITP では、会話の中で特定の情報、事実などが何度も繰り返し述べられることが多い。これらは重要な情報で、しばしば正答を導き出すポイントとなる。したがって、これらの繰り返される情報から正答を得られることがあることを受験者は覚えておくべきである。

情報の繰り返しには同じ語句がそのまま使われることは少なく、多くの場合同意語や異なった文構成を用いて言い換えられる。このため単に単語レベルの聞き取りではなく、内容をしっかりと把握する力が必要となる。「1. 話の核となるキーワードを聞き取る」の項で解説したように、同じ単語を用いた選択肢は受験者を惑わすために使われる可能性が高いので注意が必要である。

次の会話を見てみよう。

W: I remember you told me you wanted to work with young kids after you got your teaching certification. Are you still enrolled in the teacher education program?

M: I am. In fact, I'm **on my way to a local elementary school right now. I work there two days a week, and three days a week I do volunteer teaching in a kindergarten.**

Q: What do we learn about the man from this conversation?

A: He is preparing to become a teacher.

上記の例では、教職課程をとっていることが下線部で、そのためにしている活動について太字部分でそれぞれ何度か述べられている。これらから、設問の解答に結びつく「男性は教師になる準備をしている」ことがわかる。

4. Long Conversations への応用 1

最重要ストラテジー▶▶▶

- ◆ 話の核となる「キーワード」を聞き取る
- ◆ 「設問を先読み」して答えに関する情報を聞き取る
- ◆ 「繰り返される情報」に注意する

これまでに学習してきた Part A の総合的なストラテジーは、Part B にも応用することができる。ただし、Part A に比べて会話が長く、ひとつの会話に対して複数の設問があるため、さらに高度なリスニング力が求められる。

これまでに学んだストラテジーを応用し、以下のことを心がけよう。

- ◆ 話の核となる「キーワード」を聞き取り、会話の内容を把握する。
- ◆ 漠然と会話を聞かず、「設問を先読み」してから答えに関する情報を聞き取る。
- ◆ 会話の中で「繰り返される情報」に注意する。

Part B では「いつ」「どこで」「だれが(と)」「何を」「どのように」などの会話内の情報を問う問題が、Part A より多く見受けられる。基本的な話の流れや、会話で述べる数字や日付などの具体的な情報に留意して、整理しながらリスニングを行おう。

5. 会話内の「出来事」を理解する

最重要ストラテジー▶▶▶

- ◆ 現在の出来事「男性は何をしていますか」「彼らは何について話していますか」
- ◆ 今後の行動「会話の後、彼らは何をするでしょうか」
- ◆ 過去の思い込み「男性はどのように思い込んでいましたか」

これらは Part A 頻出の設問である。これらの設問を念頭に置き、会話内の出来事を理解するよう心がけよう。

Part A の設問ポイントとして、「会話の中で何が起きているか」「この会話の後で何が起こるか」を問われることは多い。この設問形式は大きく次の3つに分類できる。

設問形式

🌸 現在の出来事を問う設問

話者の状況や会話内の出来事

- What is the man doing?
- What has happened to the speakers?
- What does the woman ask the man to do?
- What are they discussing?

🌸 今後の行動を問う設問

会話後の行動を推測する

- What will the man probably do?
- What will the woman do next?
- What are the speakers planning to do?

🌸 過去の思い込みを問う設問

会話の前に話者が抱いていた「考え」

- What had the man assumed?

6. 「問題点」と「解決策」を把握する

最重要ストラテジー▶▶▶

- ◆ 会話で述べているトラブルや問題点「男性の問題は何ですか」
- ◆ 問題点に対する解決策——話者の提案「女性は何を提案していますか」

TOEFL ITP 頻出の設問に「会話で述べているトラブルや問題点」と「その解決策」を問うものがある。そのような設問の場合、会話内のトラブルや問題点、解決策に注意して会話を聞くよう心がけよう。

「問題点、解決策」を問う問題の代表的な設問形式は次のとおりである。

設問形式

🌸 **トラブル・問題点を問う設問**

- What is the man's problem?
- What is the woman concerned about?

🌸 **解決策を問う設問**

- What is the man going to do?
- What does the woman plan to do?
- What does the man suggest?
- What is the woman's advice?

また、解決策には、Why don't you ...? / I suggest [recommend] ... / You'd better *do* ... など、提案を表す定型表現がヒントとなる。

7. 「推測」と「示唆」に注意する

最重要ストラテジー▶▶▶

- ◆ 会話の内容から推測する「この会話から何が推測できますか」
- ◆ 話者の意図を推測する「男性は何が言いたいのですか」

話者の意図を推測したり、会話で示唆されている内容を理解したりする問題。

推測・示唆問題の代表的な設問形式には以下のようなものがある。

設問形式

会話から推測される事柄を問う設問

- What can be inferred from this conversation?
- What can be inferred about the man?

話者の意図・示唆を問う設問

- What does the woman imply?
- What does the man mean?

解答は会話の中で直接には述べられず、答えるために必要なヒントが示されている。ひとりの話者の行動や発言にもうひとりの話者がどのように答え、どのような反応を示しているかがこの種の問題のキーポイントとなる。また、話者の意図を問う問題では、話者の語調やイントネーションがヒントとなることもある。

SECTION 1				SECTION 2				SECTION 3			
1 (A)(B)(C)(D)	21 (A)(B)(C)(D)	41 (A)(B)(C)(D)		1 (A)(B)(C)(D)	21 (A)(B)(C)(D)	41 (A)(B)(C)(D)		1 (A)(B)(C)(D)	21 (A)(B)(C)(D)	41 (A)(B)(C)(D)	
2 (A)(B)(C)(D)	22 (A)(B)(C)(D)	42 (A)(B)(C)(D)		2 (A)(B)(C)(D)	22 (A)(B)(C)(D)	42 (A)(B)(C)(D)		2 (A)(B)(C)(D)	22 (A)(B)(C)(D)	42 (A)(B)(C)(D)	
3 (A)(B)(C)(D)	23 (A)(B)(C)(D)	43 (A)(B)(C)(D)		3 (A)(B)(C)(D)	23 (A)(B)(C)(D)	43 (A)(B)(C)(D)		3 (A)(B)(C)(D)	23 (A)(B)(C)(D)	43 (A)(B)(C)(D)	
4 (A)(B)(C)(D)	24 (A)(B)(C)(D)	44 (A)(B)(C)(D)		4 (A)(B)(C)(D)	24 (A)(B)(C)(D)	44 (A)(B)(C)(D)		4 (A)(B)(C)(D)	24 (A)(B)(C)(D)	44 (A)(B)(C)(D)	
5 (A)(B)(C)(D)	25 (A)(B)(C)(D)	45 (A)(B)(C)(D)		5 (A)(B)(C)(D)	25 (A)(B)(C)(D)	45 (A)(B)(C)(D)		5 (A)(B)(C)(D)	25 (A)(B)(C)(D)	45 (A)(B)(C)(D)	
6 (A)(B)(C)(D)	26 (A)(B)(C)(D)	46 (A)(B)(C)(D)		6 (A)(B)(C)(D)	26 (A)(B)(C)(D)	46 (A)(B)(C)(D)		6 (A)(B)(C)(D)	26 (A)(B)(C)(D)	46 (A)(B)(C)(D)	
7 (A)(B)(C)(D)	27 (A)(B)(C)(D)	47 (A)(B)(C)(D)		7 (A)(B)(C)(D)	27 (A)(B)(C)(D)	47 (A)(B)(C)(D)		7 (A)(B)(C)(D)	27 (A)(B)(C)(D)	47 (A)(B)(C)(D)	
8 (A)(B)(C)(D)	28 (A)(B)(C)(D)	48 (A)(B)(C)(D)		8 (A)(B)(C)(D)	28 (A)(B)(C)(D)	48 (A)(B)(C)(D)		8 (A)(B)(C)(D)	28 (A)(B)(C)(D)	48 (A)(B)(C)(D)	
9 (A)(B)(C)(D)	29 (A)(B)(C)(D)	49 (A)(B)(C)(D)		9 (A)(B)(C)(D)	29 (A)(B)(C)(D)	49 (A)(B)(C)(D)		9 (A)(B)(C)(D)	29 (A)(B)(C)(D)	49 (A)(B)(C)(D)	
10 (A)(B)(C)(D)	30 (A)(B)(C)(D)	50 (A)(B)(C)(D)		10 (A)(B)(C)(D)	30 (A)(B)(C)(D)	50 (A)(B)(C)(D)		10 (A)(B)(C)(D)	30 (A)(B)(C)(D)	50 (A)(B)(C)(D)	
11 (A)(B)(C)(D)	31 (A)(B)(C)(D)			11 (A)(B)(C)(D)	31 (A)(B)(C)(D)			11 (A)(B)(C)(D)	31 (A)(B)(C)(D)		
12 (A)(B)(C)(D)	32 (A)(B)(C)(D)			12 (A)(B)(C)(D)	32 (A)(B)(C)(D)			12 (A)(B)(C)(D)	32 (A)(B)(C)(D)		
13 (A)(B)(C)(D)	33 (A)(B)(C)(D)			13 (A)(B)(C)(D)	33 (A)(B)(C)(D)			13 (A)(B)(C)(D)	33 (A)(B)(C)(D)		
14 (A)(B)(C)(D)	34 (A)(B)(C)(D)			14 (A)(B)(C)(D)	34 (A)(B)(C)(D)			14 (A)(B)(C)(D)	34 (A)(B)(C)(D)		
15 (A)(B)(C)(D)	35 (A)(B)(C)(D)			15 (A)(B)(C)(D)	35 (A)(B)(C)(D)			15 (A)(B)(C)(D)	35 (A)(B)(C)(D)		
16 (A)(B)(C)(D)	36 (A)(B)(C)(D)			16 (A)(B)(C)(D)	36 (A)(B)(C)(D)			16 (A)(B)(C)(D)	36 (A)(B)(C)(D)		
17 (A)(B)(C)(D)	37 (A)(B)(C)(D)			17 (A)(B)(C)(D)	37 (A)(B)(C)(D)			17 (A)(B)(C)(D)	37 (A)(B)(C)(D)		
18 (A)(B)(C)(D)	38 (A)(B)(C)(D)			18 (A)(B)(C)(D)	38 (A)(B)(C)(D)			18 (A)(B)(C)(D)	38 (A)(B)(C)(D)		
19 (A)(B)(C)(D)	39 (A)(B)(C)(D)			19 (A)(B)(C)(D)	39 (A)(B)(C)(D)			19 (A)(B)(C)(D)	39 (A)(B)(C)(D)		
20 (A)(B)(C)(D)	40 (A)(B)(C)(D)			20 (A)(B)(C)(D)	40 (A)(B)(C)(D)			20 (A)(B)(C)(D)	40 (A)(B)(C)(D)		

島崎 美登里 (しまざき・みどり)

コロンビア大学大学院(英語教育学)修士課程修了。埼玉県立大学名誉教授。著書に『英語教育を変えよう』(共著)など、論文に *Developing Vocabulary in a University Reading Class: Autonomous Learning and Multiple Exposures in Context*, 『第二言語によるコミュニケーションに関わる学習者の情意要因』などがある。

Paul Wadden, Ph.D. (ポール・ワーデン)

順天堂大学国際教養学部教授。ヴァーモント大学大学院修了(修辞学)。イリノイ州立大学大学院修了(英米文学博士)。

著述家・文学者。ニューヨーク・タイムズ、ウォールストリート・ジャーナル、ワシントン・ポストなど、多数の新聞および雑誌に執筆。著書に *A Handbook for Teaching English at Japanese Colleges and Universities* (Oxford University Press), *Teaching English at Japanese Universities: A New Handbook* (Routledge), *TESOL Quarterly*, *College Composition*, *College Literature* に掲載の言語教育に関する論文、70冊を超える TOEFL TEST, TOEIC TEST 対策教材など多数。

Robert A. Hilke (ロバート・A・ヒルキ)

(株)リンクグローバルソリューション プリンシパル。(株)ヒルキ コミュニケーションズ代表取締役社長。

トヨタ、キャノン、松下電器産業などで異文化間コミュニケーションのコンサルタントとして活躍。カリフォルニア大学サンディエゴ校大学院(言語学)修士課程修了。元国際基督教大学専任講師。

異文化コミュニケーションおよび言語能力テストのスペシャリストで、TOEIC, TOEFL, GRE 対策教材などの著書多数。いずれのテストも繰り返し受験し、その傾向、特徴を詳細に把握したうえでの模擬問題の執筆と受験指導で定評がある。ほかに、『国際ビジネス感覚養成講座』など、語学教育に関する著書や論文多数。

© Midori Shimazaki; Paul Wadden; Robert A. Hilke, 2023, Printed in Japan

はじめて受ける TOEFL ITP® TEST 総合対策【改訂版】

2010年3月31日 初版第1刷発行
2023年2月25日 改訂初版第1刷発行

著者 島崎美登里/Paul Wadden/Robert A. Hilke
制作 ツディブックス株式会社
発行者 田中 稔
発行所 株式会社 語研
〒101-0064
東京都千代田区神田猿樂町2-7-17
電話 03-3291-3986
ファクス 03-3291-6749
組版 ツディブックス株式会社
印刷・製本 シナノ書籍印刷株式会社

ISBN978-4-87615-368-8 C0082

書名 ハジメテウケル トーフルアイティーピーテスト ソウゴウタイサク カイテイバン
著者 シマザキ ミドリ/ポール・ワーデン/ロバート・ヒルキ
著作権者および発行者の許可なく転載・複製することを禁じます。

定価はカバーに表示してあります。
乱丁本、落丁本はお取り替えいたします。

株式会社 語研 

語研ホームページ <https://www.goken-net.co.jp/>

本書の感想は
スマホから↓

